

# 木曽クリーンセンターだより

令和3年3月号

木曽広域連合  
木曽クリーンセンター  
木曽町福島 7709  
Tel 24-3131

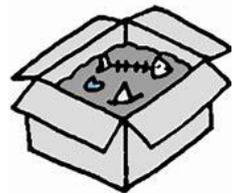
## 生ごみの分別を徹底してごみを減らしましょう

木曽クリーンセンターで収集している燃えるごみには、3割から4割以上もの生ごみが混ざっています。生ごみには多量の水分が含まれているため、ごみとして燃やすには無駄な時間と費用がかかります。以下を参考に生ごみ指定袋の利用や堆肥化で燃えるごみの削減にご協力ください。

生ごみの処理方法		説明	メリット・デメリット
生ごみの分別	生ごみ指定袋	民間プラントで堆肥化して無料配布または袋詰めして販売します	可燃ごみの減量 ↓ 焼却費用の削減
	コンポスト（堆肥化） 段ボールコンポスト* 生ごみ処理機等	家庭菜園、畑の肥料に使えますし、ごみ捨てが楽になります	
燃えるごみとして処理	可燃ごみ指定袋	可燃ごみに3割から4割以上の生ごみが混入	焼却費用がかさむ!!

\*段ボールコンポスト … 毎日かき混ぜる必要がありますが、水を切らずに入れても構わないので、生ごみを簡単に処分できます。堆肥になったら家庭菜園やプランター栽培に利用できます。

作り方は長野県のホームページ [段ボールコンポスト 検索](#)



## 食品ロスを減らしましょう

日本で廃棄される食品残渣は平成29年度の推計で612万tもありました。この食品ロスを減らすことにより、ごみ量の削減、ひいてはごみ処理費用の削減につながります。必要な量だけ購入・調理し、食べ残しをなくせば、食品ロスを減らすことができます。

12 つくる責任  
つかう責任



持続可能な開発目標（SDGs）の12番「つくる責任 つかう責任」には2030年までに世界全体の1人当たりの食料の廃棄を半減させる目標が設定されています。



木曽広域連合ホームページでカラー版をご覧ください <http://www.kisoji.com/kisokoiki/>

裏面の生ごみの分別一覧表をご参照下さい